

報道機関各位

たつの市臨時記者発表資料	
発表年月日	令和2年2月14日（金）
担当課	企画財政部企画課
電話	0791-64-3141

播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業

## 「将来推計人口分析に係る研修会」を開催しました

高齢者人口がピークを迎える2040年頃の姿からバックキャスティングによる政策立案を推し進めるにあたり、EBPM（証拠に基づく政策立案）の観点から、人口動態の把握・分析力の向上を図り、限られた資源を有効に活用した効果的な行政経営、圏域マネジメントの強化につなげることを目的に実施しました。

### 記

- 参加者 播磨科学公園都市圏域定住自立圏の構成市町職員 61名  
※播磨科学公園都市圏域定住自立圏の構成市町：たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町  
播磨科学公園都市圏域定住自立圏ビジョン懇談会構成団体 3名  
※出席団体：龍野商工会議所、宍粟市商工会、佐用町社会福祉協議会
- 日時 令和2年2月12日（水） 午後2時から午後5時
- 場所 たつの市はつらつセンター 3階多目的ホール
- 講師 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所  
所長 藤山 浩 氏
- 内容 第1部 基調講演「人口予測から見えてくる地域の未来と政策展開」  
第2部 講義 人口分析手法（コーホート変化率法・コーホート要因法）  
人口推計ツールによるシミュレーション
- 実施報告

講師の藤山氏から、第1部の基調講演において、政策展開を検討するにあたっては人口動態の把握による「現状診断」と政策目標設定を立てることにより、効果的かつスピード感のある事業展開につながる重要性を講演いただきました。

また、地域協働によるローカルビジネスの展開については、分野横断的な評価が必要とされ、行政による公的資産の投下の面でも1分野だけを捉えるとマイナスが生じるが、他分野への波及効果も含めるとプラスに転じる「連結決算」の視点をもった政策展開が今後ますます求められる点を指摘いただきました。

第2部の講義では、人口分析に関する解説と政策目標の設定については人口分析ツールを用いて、人口総数、高齢化率、小・中学生人口数の指標を中心にシミュレーションを行いました。受講者からは、2040年以降の人口を維持・安定化させるための具体的な目標をイメージすることができ、今後、バックキャストによる持続可能な地域づくりの政策立案に活かしていきたいとの感想がありました。



※写真データが必要な場合は、御連絡願います。